

平成 31 年度 推薦入試試験問題（第一部 商経学科）解答例

問 1 (40 点)

【採点のポイント】

- ・大学の役割に関する筆者の主張を要約できているか。
- ・論理的に考えを記述できているか。

【解答例】

筆者によれば、大学の役割は、有能で教養ある人間を育成することである。大学は、生計を得るための特定の手段に人々を適応させるのに必要な知識や技術を教える、職業教育の場ではない。そのような知識や技術を賢明かつ良心的に使用するか、悪用するかは、教育制度によって与えられる知的訓練とそれによって刻み込まれた思考習慣によって決定される。したがって大学では、専門知識そのものではなく、その正しい利用法を指示し、専門分野の技術的知識に光を当てて正しい方向に導く、一般教養教育が必要である。

問 2 (60 点)

【採点のポイント】

- ・現代の日本社会における大学教育のあり方について、理由を示しながら記述できているか。
- ・論理的に考えを記述できているか。

【解答例 その 1】

私は、現代の日本社会が求める大学教育のあり方は、筆者が指摘するように、専門教育よりはむしろ、一般教養を重視する教育であると考えます。一般教養教育の重要性は、時代や国が違っても共通していると思う。

専門的な知識や技術そのものは、専門学校や予備校でも教えることができる。また現代では、インターネットを通じて専門的な知識を獲得することもできるかもしれない。しかしながら、そのような知識や技術をどのように活用するか、どのように社会に役立てるかについては、深い一般教養が不可欠である。一般教養教育を通じて多様な分野の知識を学ぶこと、また社会のあり方について考えることで、専門的な知識や技術を様々な角度から分析し、発展させることができるし、社会を良い方向に導くようそれらを利用することができるはずである。

【解答例 その2】

私は、現代の日本社会が求める大学教育のあり方は、一般教養教育よりはむしろ、専門的な知識や技術を重視する教育であると考え。その理由は、専門教育に関する知識や技術の水準が極めて高くなっているからである。

筆者の主張は150年以上前のイギリスで行われたものであり、時代も国も異なる。現代の日本社会では、大学での専門教育が求められていると思うし、その内容も非常に高度になっている。たとえば、筆者が例として挙げている靴づくりで考えてみると、当時は職人から職人へと製造方法が伝達されたかもしれない。しかし現代では、工場で大量につくるための機械工学や化学などの高度な知識が重要となっている。また、当時からある製品だけでなく、自動車やデジタル家電などの新しい製品が普及しているし、自動運転やAIのように使われる技術も向上しているため、大学を通じて専門的に学ぶ必要があるといえる。